

うえだ News 環境市民会議

平成 16 年 3 月 15 日
第 5 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
seikatukankyo@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

第3回うえだ環境市民会議開催

「地球環境とわたしたちの暮らし」と題し、筑波大学名誉教授 林 一六先生にご講演いただきました。詳しくは、うえだ環境市民会議ホームページをご覧ください。

また、ワーキングチームの活動を報告するため、10月に大会を開催することが決まりました。

<http://www.city.ueda.nagano.jp/seikatukankyo/ueda-ksk.htm>

自然豊かな山と川を育むまち

- 2月24日ミーティング開催
- 上田市農林課市川主事から、上田市内の保存樹木及びその指定方法等について、話を聞きました。
- 上田市版動植物レッドリストの作成について検討しました。
- 次回の予定 松くい虫の消毒について、上田市の対応等の話を伺います。

母袋市長が染屋の森を視察

2月14日、母袋市長が染屋の森を視察しました。当日は、当会議のメンバーでもあり、染屋の森の会を代表する上野博子さんや川上美保子さんから、森の役割について説明があり、母袋市長も熱心に話を聞いておられました。

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

- 2月5日 市内河川の水質検査実施
- 市内河川の状況を調査しました。河川敷には、たくさんのごみが捨てられていました。また、神川、産川、蛭沢川のCOD、硝酸、亜硝酸、りん酸についてバックテスト(簡易

水質検査キット)で検査した結果、産川において、他の調査地点よりも高いりん酸の反応が確認できました。産川流域は、公共下水道等の整備が遅れている地域であり、生活排水による影響が考えられるとのことでした。河川の水質については、今後も監視していく必要があると思います。

うえだの景観

■ 2月12日ミーティング

- 中心市街地の中央通りや海野町通りに、他団体との協働により花を植えることを検討した。「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」には花を育てる協力を得る事になったが、「上田まちづくりワークショップ」と検討した結果、花の管理に取り組むことになり、現在の管理状況を把握するため、上田市公園緑地課に話しを聞きに行くことにした。

■ 2月16日 上田市公園管理事務所上原氏から公園・緑地の管理状況について伺った。

- 公園 217箇所、道路 14路線、ポケットパーク 10箇所の管理を、小中学校・自治会・各種団体とともにやっている。床づくり・花植え・草取り・水やりが主な内容。

中心市街地の中央通りや海野町通りは建設事務所の管理で、さらに、この二つの通りは景観協定を締結し、各店舗で花壇の管理をしている模様。したがって、上田駅お城口駅前広場の花壇の草取りのお手伝いを検討したい。

■ 2月27日、UCV制作番組「うえだの近代化産業遺産」の第3回目収録(会場：清水憲之助家・明治時代)

- 蚕室造りの民家の解説を竹内秀夫が務め、建物の経緯や内部を清水憲之助氏、敬四郎氏のご兄弟に語って頂いた。塩尻地区(秋和・上塩尻・下塩尻)には、100棟を超す蚕室造りの民家が残されており、その1棟である清水家の蚕室は、『養蚕教弘録・1847年』や『養蚕乾濕計・1871年』で有名な曾祖父の金左衛門が設計したもので、背の高



写真：清水憲之助家

い越屋根が大きな特徴である。越屋根は大屋根の上に載った小さな屋根のことで、換気のために設けられたことから、塩尻地区では気抜きと呼ばれている。

越屋根に設けられた窓を気抜け窓といい、窓の開閉には引き戸式、回転式、上げ下げ式があり、清水家の蚕室は引き戸式の窓に付けられた2本の紐を、越屋根まで上らずに2階床に立って操作しながら開閉できるように工夫されている。1階蚕室の床には、埋薪と呼ばれる囲炉裏が切られ、2階蚕室の床には換気口が開けられ、上部は2重天井でその中央が越屋根までの吹抜けとなっており、温度や湿度の調節を容易にできるようにしたことから、それまで年2回しか採れなかった蚕種が年3回採れるようになり、塩尻地区の蚕種業の発展に寄与した。

地球SOS

- 上田から発信する地球温暖化対策の提案を検討しています。
- 身近で実行できる省エネルギー方法を考え、市民へ広げます。
- 循環型社会（ゼロエミッション）の実践を学び、拡大を考えます。
- 少雨地帯のため日照時間が多い上田として考えられる自然エネルギー（特に太陽光）について学習し、市民に提案します。
- 森と街に気温測定器を設置して、上田の街のヒートアイランド現象を観察し緑地の効果を考えます。

シラカシ自生地の観察会

庭木などで馴染みのシラカシという木は、温暖な土地で自然分布しており、上田では植樹したものしか越冬できないとされていました。しかし、近年は上田の里山などで自生しているのが確認されています。温暖化と考えられる現象を観察する中で、温暖化防止行動もあわせて考えたいと思います。春を待つ冬芽の観察もします。

- 1 日 時 3月13日(土)午後1時30分~4時
- 2 場 所 上田市 小泉大日堂 駐車場
- 3 内 容 シラカシ観察と個体数調査
- 4 申込み 3月10日までに生活環境課までご連絡ください。

雨天決行します。

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

- 2月9日 上田市消費者の会主催の事業所との意見交換会に出席しました。
- 市内大手スーパーの代表者が集まる会に出席し、食品トレイ使用削減活動についての取組報告をしました。

- 2月12日 ミーティング開催 食品トレイ使用削減活動について打ち合わせ

- 2月25日 食品トレイ使用削減活動打ち合わせ会開催
- ごみ減量を推進する、市内9団体の代表が集まり、食品トレイ使用削減に向けた活動について検討した。4月に、市内食品小売事業所との懇談会を開催する事を決定した。
協力団体：「上田市ごみ減量アドバイザー会議」「上田市消費者の会」「上田市婦人会」「上田商工会議所女性会」「上田友の会」「エコ・サポート21」「学生地域くらし創り考房こみつと」「生活クラブ生協上田支部」（五十音順）

環境学習 いのち ～命の連環を学ぶ～

- 2月12日ミーティング開催 今後のスケジュールについて検討しました。

上田市内の施設から環境を考えよう

- と き 4月13日(火)午前8時45分
上田市民体育館前集合
見学施設 上田クリーンセンター、室賀最終処分場、
県営水道諏訪形浄水場、市営水道染屋
浄水場、南部クリーンパーク
持 ち 物 昼食（お花見しましょう!）、雨具、
上履き
※バスの移動になります。定員30名になり次第、
締め切らせていただきます。

環境ISOネットワーク

- 2月10日 上田市環境ISOネットワーク研修会開催
- 「エコアクション長野」、「エコアクション21」の各プログラムについて、環境カウンセラー 北条敏彦氏にご講演いただきました。
- 環境ISOヘルプデスクを開設します。
上田地域内の事業者からの、環境ISOの取得や手法、また、環境省や長野県版の「環境評価プログラム」についての相談を随時受け付け、その相談内容に対し、ネットワーク内で検討し、回答及び必要に応じて事業所に出向き、現地指導を行います。

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。参加ご希望の方は、上田市生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

事務局 上田市生活環境課内：電話 0268-23-5120